

1. 大会名 第22回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会
 2. 主催 日本学生ライフル射撃連盟 公益社団法人日本ライフル射撃協会
 3. 主管 日本学生ライフル射撃連盟 関西支部 中部支部 九州支部
 4. 後援 能勢町教育委員会 大阪府ライフル射撃協会 近畿射撃連合
 5. 期日 平成30年7月6日(金)～7月8日(日)
 6. 会場 能勢町国体記念スポーツセンターライフル射撃場
 〒563-0114 大阪府豊能郡能勢町山内19-1
 TEL: 072-737-2727
 7. 開会式 平成30年7月6日(金) 8:30
 8. 閉会式 平成30年7月8日(日) 16:00
 9. 競技日程・種目

日程	競技種目	競技時間	予定人数	備考
7月6日(金)	AP60M/W	9:30～10:45	28名以内	
	AR Mixed Team	11:50～12:40	28名以内	14チーム
	AR Mixed Team FINAL	14:00～		ファイナリスト出頭時刻 13:30
	50mR.Prone	10:00～10:50	25名以内	
	50mR.Prone	11:50～12:40	25名以内	
7月7日(土)	AR 60M	9:30～10:45	28名以内	
	AR 60M FINAL	13:00～		ファイナリスト出頭時刻 12:30
	50mR. 3×40W	9:30～12:15	25名以内	
	50mR. 3×40W FINAL	14:00～		ファイナリスト出頭時刻 13:30
7月8日(日)	AR 60W	9:30～10:45	28名以内	
	AR 60W FINAL	12:30～		ファイナリスト出頭時刻 12:00
	50mR. 3×40M	9:30～12:15	25名以内	
	50mR. 3×40M FINAL	14:00～		ファイナリスト出頭時刻 13:30

10. 競技方法 (1) 団体戦 ア 男子総合団体 団体戦出場校の2種目(ARと3姿勢)の得点合計
 イ 女子総合団体 団体戦出場校の2種目(ARと3姿勢)の得点合計
 ウ 種目別団体 出場校の得点合計 伏射(Prone)を除く4種目
 (2) 個人戦 各種目得点による(ファイナル競技も実施する)
11. 競技規則 各種目とも、公益社団法人日本ライフル射撃協会制定最新競技規則に依る
12. 使用標的 (1) 50m種目 電子標的 (MEYTON)
 (2) 10m種目 電子標的 (MEYTON)
13. 参加資格 (1) 日本学生ライフル射撃連盟に加盟しており、公益社団法人日本ライフル射撃協会の会員であること。

- (2) 総合団体は、平成30年度各支部で実施の春季大会＝北海道学生選手権、関東学生選手権、中部学生選手権、全関西学生選手権、九州学生選手権大会の成績を基に日本学生ライフル射撃連盟が選考した、男子6団体および女子6団体。
各種目3名の選手で構成される、一人の選手が複数の種目に参加できるものとする。
- (3) 個人は(2)に挙げた春季大会の成績を基に日本学生ライフル射撃連盟が選考した者。
- (4) なお(2)に挙げた春季大会の成績による選考においては、支部の実施する種目により50mライフル3×40競技については同3×20競技の成績を勘案して選考する場合がある。
- (5) AR Mixed Team Event 14チームの選考は予め組み合わせを届け出た男女の春季大会の合計点で決する。1校につき2組まで届け出可能。出場権は大学に与えられる。参加者は春季大会該当種目に出場した者に限り、選手交代は競技規則による。
- (6) AP60M/Wに参加する選手は、(2)に挙げた春季大会に出場実績があること。

14. 参加制限 団体枠で出場する選手は、参加資格(2)に挙げた春季大会の当該種目に出場していなければならない。
日本代表選手として海外の大会に出場するために支部春季大会に出られない場合は、予選免除申請をすること。

15. 表彰	総合団体 男/女	1位	優勝杯・賞杯・賞状・副賞
		2位、3位	賞杯・賞状・副賞
	種目別団体	1位	賞杯・賞状・副賞
		2位、3位	賞杯・賞状・副賞
	個人	1位～3位	賞牌・賞状
		4位～8位	賞状

16. 参加料	(1) 50m種目	5,000円
	(2) 10m種目	3,500円
	(3) 10mエアライフル Mixed Team	7,000円

17. 参加申込 申し込み期間内に大学単位で日本学生ライフル射撃連盟に申し込むこと。
個人加盟・登録者にあつては支部幹事長が取りまとめ申し込むこと。
参加決定は日本学生ライフル射撃連盟から各支部/大学に通知する。

18. 宿泊・昼食 各自手配、負担のこと。幹旋は行わない。

19. 銃器・弾薬 銃砲所持許可証、火薬譲受許可証、日ラ会員証、射手手帳は必ず持参すること。
また、運搬・携帯には十分注意すること。

20. 用具検査 大会前日(7月5日)から当該種目競技開始前まで実施する。

21. 公式練習 実施しない、7月5日に練習する場合は各自射座手配のこと。

22. 大会責任者	大会委員長	袴田登喜造
	競技委員長	深澤 佑樹
	テクニカル・デレゲート	長井 弘信